

レオナルド・ダ・ヴィンチ 解剖手稿 (ファクシミリ版)
神奈川大学図書館所蔵

目次

- 【特集】
Wikipedia のルーツがここにある
－ 百科事典を知る － …… 2頁
- 2016 年度
春の図書館ツアー・ガイドスのお知らせ
(横浜図書館) …… 4頁
- 凧 (たこ) - またの名を“いかのぼり” といふ -
2016年 1月 横浜図書館展示報告 …… 5頁
- 横浜・平塚 視聴覚資料のご案内 …… 6頁
- 《図書館の所蔵資料紹介》
レオナルド・ダ・ヴィンチ解剖手稿
(ファクシミリ版) …… 7頁
- 図書館からのお知らせ
今号の表紙
編集後記 …… 8頁

図書館 展示のお知らせ

Wikipedia のルーツがここにある
－ 百科事典の歴史 －

大プリニウスの『博物誌』から始まり、中世のイシドールの『語泉』、デイドロ、ダランベールの『百科全書』など、西洋における百科事典の歴史をたどると、その後の世界に影響を与え重要な役割を果たした様々な事典の名があげられます。横浜図書館では百科事典の歴史をテーマに現在展示を行っています。

人類が蓄積してきた知識を広く伝えるために、時には資金不足や検閲という困難に遭いながらも事業を完成させた偉大な仕事の数々をご覧ください。

場所：横浜図書館 1F 展示コーナー
期間：2016年 3月14日(月) - 5月31日(火)

〔特集〕

Wikipedia のルーツがここにある － 百科事典を知る －

かつて各家庭の書棚には立派な百科事典が並んでいました。今は重くてかさばる冊子をわざわざ並べる必要もなく、インターネットに検索語を入れるだけで簡単に調べたいことが調べられるようになりました。しかしその情報の質についてはピンからキリまであり、信頼できる情報を見極める事が大切です。神奈川大学図書館でも様々な種類の百科事典を所蔵し、またHPからは電子の百科事典や辞書も利用できるようになっています。今回は図書館が所蔵する中から、特に歴史的に重要とされ、その後の思想にも影響を与えた百科事典をいくつか紹介しましょう。



英語で書かれた最初のアルファベット順百科事典

技術百科事典 *Lexicon technicum: or an universal English dictionary of arts and sciences, explaining not only the terms of art, but the arts themselves, 1704, 1710* 年

編纂者はイングランド、シュロップシャー生まれのジョン・ハリス (John Harris, 1667?-1719)。それまでの百科事典が重視した神学、修辞学、ラテン語文典などの中世的教養を除外し、科学 (物理、解剖学)、技術 (船舶、航海学)、法律などの実用的学問を重視した。図版が精密であること、文献案内が付されていることが特色である。

前後参照システムのアイデアによる百科事典

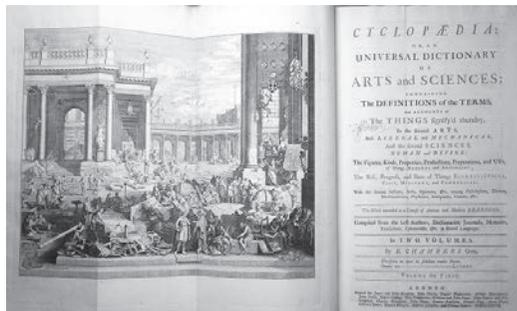
チェンバース百科事典 *Cyclopaedia, or an Universal Dictionary of Arts and Sciences, 1728* 年

編纂者はロンドンの地図作者イーフレ임・チェンバース (Ephraim Chambers, 1680?-1740)。ジョン・ハリスの事典から着想を得て新しい事典の編集に取り組んだ。ハリスの事典にはなかった人文の分野の項目を追加し、それ以降の百科事典編集に欠くことのできない技法である前後参照システム (cross-references) を採用した。デイドロ、ダランベールの《百科全書》は、最初この事典の翻訳版として計画されており、その後の事典制作にも大きな影響を与えた。

ジョン・ハリスの肖像と《技術百科事典》の標題紙



《チェンバース百科事典》の標題紙と口絵



前後参照システムによる記述 See ~

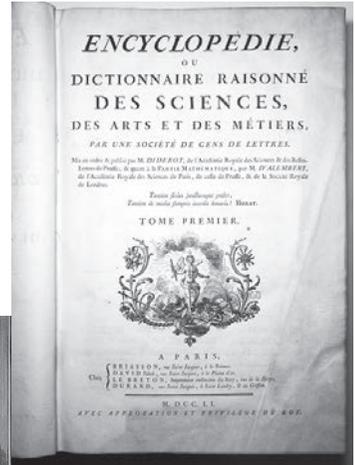
ARCHITECTURE, ARCHITECTURA, the Art of Building; *i. e.* of erecting Edifices proper for Habitation, or Defence. See BUILDING, EDIFICE, &c.
Architecture is usually divided, with respect to its Ob-

フランス啓蒙思想の金字塔

百科全書 *Encyclopédie, ou Dictionnaire raisonné des sciences, des arts et des métiers*,

1751-1772 年

この百科事典はディドロ、ダランベールを編集責任者として匿名の者を含む二百数十名に上る執筆者によって完成された。「百科全書派」(アンシクロペディスト)と呼ばれる執筆者にはルソー、ドルバックなどの有名人や科学者、数学者、職人や聖職者などもおり、一つの自由主義的思想家集団を生成し、フランス革命を準備する思想運動に影響を与えた。1751年第1巻が出版され、1752年には第2巻が出版されるが既刊2巻が発禁処分となり、編集者のディドロ投獄、1758年ダランベール編集作業離脱など、様々な困難を乗り越え1772年に本文17巻図版11巻の完結をみた。



右:

百科全書標題紙

左:

図版「金属技術と針製作業」



アルファベット順の配列法を排し、ジャンルごとに解説を集めた百科事典

体系百科全書 *Encyclopédie méthodique*, 1782-1832 年

ディドロ、ダランベールによる《百科全書》の補巻の出版者の一人、パンクックが《百科全書》の欠点とされていたアルファベット順の配列法を排し、ジャンルごとの事典を集めた総合的百科事典。執筆協力者は大部分が《百科全書》補巻に関わった知識人。1782年から50年の歳月を費やし完成した。本学図書館では197冊に製本された完全セットを所蔵している。

出版者に信頼の判断基準をおく百科事典の伝統の始まり

学術・芸術万有大事典—ツェドラーの百科事典 *Grosses Vollständiges Universal Lexicon Aller Wissenschaften und Künste, ...*, 1732-1754 年

出版者の名前(ラルース、ブロックハウスなど)を事典の信頼の判断基準にするという百科事典の伝統の始まりはこの「ツェドラーの百科事典」による。編集者(9人)を雇って編集作業が行われた最初の百科辞典で、約90人の学者が執筆協力し、各編集者はそれぞれの専門分野に責任を持ち編集を行った。また、存命中の人物の伝記を取録したこと、詳細な引用文献を付したこと、系図学に関する記事が優れていることが特徴である。



現在、横浜図書館では1F展示コーナーにて百科事典の展示を開催中です。

(期間: 2016年3月14日~5月31日)

忙しい現代人も、たまにはじっくりと冊子の百科事典を紐解いてみてはいかがでしょうか。そこには思わぬ発見や新しい世界との出会いがあるかもしれません。

2016年度 春の図書館ツアー・ガイダンスのお知らせ(横浜図書館)

図書館には、通常の閲覧室だけでなく、音楽や映像資料を視聴できる視聴覚ブースや、MNSアカウントで自由に利用できるPC、グループワークに使えるミーティングコーナー等様々な施設設備があります。また、横浜・平塚合わせて130万点を超える資料を所蔵しています。

横浜図書館では図書館利用の第一歩として、毎年4、5月に図書館の使い方をご案内しています。レポート課題が出る前に、ぜひ図書館ツアーとOPACガイダンスに参加してください。

なお、平塚図書館ではFYSの授業の中で図書館の案内とOPACガイダンスを実施します。

1. 図書館ツアー

日程：4/7(木)～5/27(金)

時間：12:25～12:50

定員：各回25名 ※申込不要

大学図書館は高校までの図書館と大きく違います。どこが違うのか、どんな風に活用すればよいのかを実際に館内を回りながら図書館員がご案内します。普段は入れない23号館書庫の中にも入れます。新入生以外の方もぜひご参加ください！

2. OPACガイダンス

日程：4/18(月)～5/27(金)

時間：12:25～12:50

場所：横浜図書館 視聴覚小ホール

定員：各回20名(ノートPC20台)

※申し込み不要(参加人数によっては相席になる可能性があります)

神奈川大学の所蔵資料や学術論文の探し方をマスターしましょう！蔵書検索システムOPACの使い方を、ノートPCを利用して演習形式で学ぶガイダンスです。PCにログインするために、MNSアカウントをご用意ください。

詳細は図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.kanagawa-u.ac.jp/library/>



ご参加お待ちしております。



凧（たこ）

—またの名を いかのぼり といふ—

日本のお正月の風景の一つとしてなじみ深いものに、青空の下で凧を揚げる子供の姿があります。最初のうち“いかのぼり”と呼ばれた凧は、上方文化の流入という形で江戸に伝わりました。江戸に伝わった凧は、その呼び名が“たこのぼり”に変化し、やがて凧（たこ）という呼び名になります。

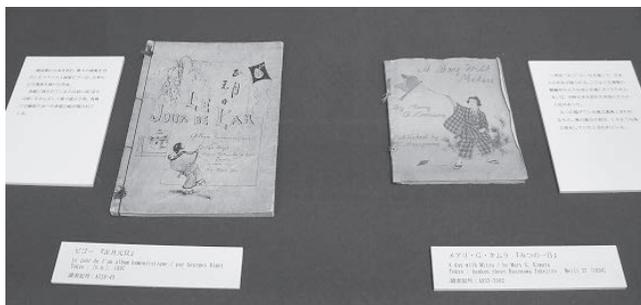
凧は子供の玩具であると同時に、まじないや魔除けなどの民間信仰や歌舞伎、浮世絵などの華やかな江戸の文化とも深く結びついています。また、参勤交代や各地を旅する商人によって江戸から地方に持ち帰られた凧は、今ではその地方独特の特色を反映した郷土色豊かな図柄で作られるようになりました。

神奈川大学図書館の所蔵資料には『古凧の美：日本古凧絵四十選／斎藤忠夫編集・解説（請求記号：B750-124）』という日本各地の凧の図柄を集めた大型資料があり、今回の展示ではこの大判の図版と凧に関する様々な資料を展示しました。

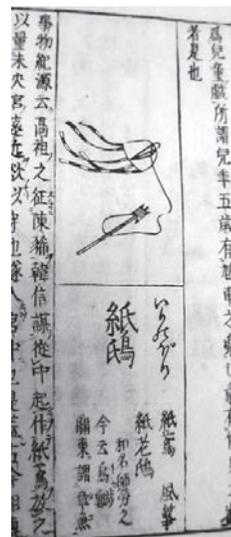
①



②



③



- ① 日本各地の郷土色豊かな凧の図柄
- ② 凧を揚げる子供が表紙に描かれた明治時代の洋書
（G.F. ビゴ『正月元旦』、メアリ・G・キムラ『みつの一』）
- ③ 寺島良安編『倭漢三才圖會』の凧（紙鴿 いかのぼり）の説明

その他の展示資料：

『頭書増補訓蒙圖彙 二十一卷 首一卷』 惕齋先生編；下河邊拾水画圖
『東海道名所圖會 六卷』 秋里籬島 編；竹原春泉齊、ほか画
Japan day by day, 1877, 1878-79, 1882-83 / Edward S. Morse
The Illustrated London News, 他

会期：2016年1月7日～2月29日
場所：横浜図書館 1F 展示コーナー

横浜・平塚 視聴覚資料のご案内

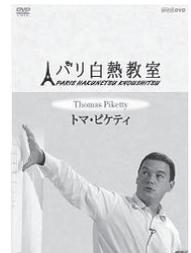
神奈川県立図書館には横浜、平塚共に視聴覚資料が利用できる施設があります。視聴覚資料とは具体的には録音資料や映像資料—CD、DVD、ビデオ、などを指します。大学時代に幅広い教養をつけ、優れた芸術作品に触れる事ができるようにと図書館では専攻や専門分野の勉強に役立つ資料だけではなく、音楽や映画などの資料も利用できるようになっているのです。また、研究や課題の準備に映像資料を利用することは、そのテーマについて理解を深める近道になります。OPACで簡単に検索できますので、積極的に利用してください。

※タイトル後ろの表示 横=横浜図書館所蔵 横・平=横浜・平塚両図書館所蔵 (一部)=コレクションの一部所蔵

■ 経済学、歴史、紛争・・・難しそうなテーマもビデオなら分かりやすい！

《トマ・ピケティ / パリ白熱教室》横

『21世紀の資本』が世界的ベストセラーになったピケティ教授の講義。
あの分厚い本を読まなくても済む？ かもしれません。



《Days that shook the world : 世界に衝撃を与えた日 全30巻》横・平 戦争、暗殺、パニック、スパイ事件など、再現ドラマも取り混ぜながら歴史上の重要な事件が分かりやすく理解できるようになっています。

《第二次大戦後の世界のテロと武力紛争 全13巻》横・平

PLO、IRA、アルカイダ、オウム真理教など、26組織を取り上げ、組織結成の背景や世界に与えた影響などを解説しています。

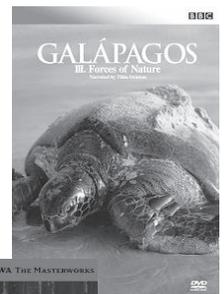
■ 映像で世界を知る

世界遺産を知る：《BBC 世界の建築遺産》横・平

自然の力を知る：《BBC active ガラパゴス》横・平

食の問題を知る：《Jimmy's food price hike 世界の食料高騰事情》横

死刑制度を知る：《生と死刑のはざま》横



■ これくらいはおさえておきたい！芸術作品に触れる

《黒澤明 The Masterworks 全23巻》横，平（一部）

スピルバーグもルーカスもあこがれた！日本が誇るクロサワ映画の全作品集です。



《世界アニメーション映画史 20巻》横

エミール・コール、エミール・レイノーといったアニメーションの創始者の短編作品からミッキー・マウス誕生以前のディズニー作品まで収録されています。

《チャールズ・ディケンズ・コレクション》横，平（一部）

英国の文豪ディケンズの小説を映画化したシリーズ。『デビッド・コパーフィールド』ではハリー・ポッター出演前のダニエル・ラドクリフ君が主演しています。

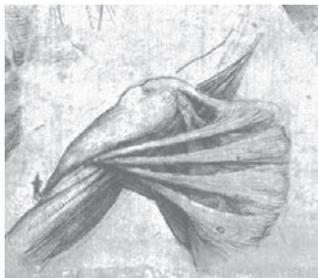
※他にも多くの資料があります。勉強に、息抜きに活用してください。

レオナルド・ダ・ヴィンチ解剖手稿（ファクシミリ版） 岩波書店，1982年

請求記号：A490-222（横浜 特別図書）

システイーナ礼拝堂のミケランジェロによる天井画《アダムの創造》には、神とアダムの肉体が美しくもリアルに描かれている。ルネサンスの芸術家達は人体の美を表現するには骨や筋肉に関する知識が必要であることを悟り、解剖学を研究していたと言われる。しかし、ほとんどの芸術家が骨格や表面の筋肉を表現するためという目的に留まる中、その目的を越えて解剖学に興味を持ち、生涯にわたり研究を続けた者がいた。万能の天才と言われるレオナルド・ダ・ヴィンチである。

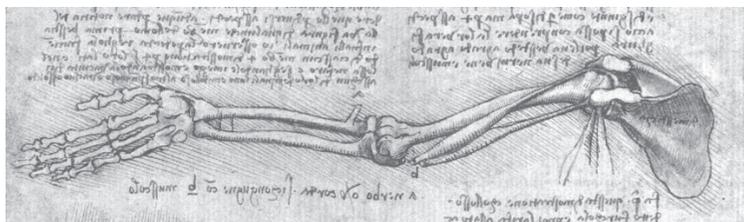
レオナルド・ダ・ヴィンチ（Leonard da Vinci, 1452-1519）は17才の時に父と共に移り住んだフィレンツェでヴェロッキオの工房に弟子入りした。ヴェロッキオと言えば弟子レオナルドの才能に打ちのめされた画家という、真偽の定かではない逸話が伝えられているが、レオナルドが芸術以外にも様々な分野に興味を持ったのはこの師のおかげだと言われている。ヴェロッキオもまた芸術や建築だけでなく、機械工学、数学、解剖学などにも通じたルネサンスの万能人であった。レオナルドはこの工房で解剖学に出会い、一生を通して研究していくことになる。



1482年にミラノに移ったレオナルドはこの地で解剖学研究のスケッチを多数描いている。初めの頃は実際に解剖を行ったものではなく、伝統的な医学書の記述に頼ったため不正確な解剖図もあるが、研究が深まるにつれ、それまでの解剖学に疑問を感じ、誤りを修正している。ミラノ公ルドヴィーゴのための仕事や《最後の晩餐》の制作で多忙な傍ら解剖学の研究を続け、解剖図の表現には画家としての才能をもって工夫を重ねている。

1500年、ルドヴィーゴの失脚によりフィレンツェに戻ったレオナルドは、病院の近くに宿を定め内臓器官、筋肉、血管、神経などの研究に熱中し、老人の解剖によって数々の病理学的発見、記録を残している。また、このフィレンツェ時代には《モナリザ》の制作を始めている。1506年、仕事の完成を求められてミラノに向かったレオナルドは、この地でフランス王から俸給を受けるようになり1515年に研究する権利を剥奪されるまで解剖学に取り組み続けた。

レオナルドは公式の教育を受けていなかったため、たびたびその研究を非難されることがあったらしい。「私が学者でないと言う事実があるため、ある尊大な人々が私のことを書物の学問を知らないと言い立て、正当な理由もなく私を非難することを良く知っている」と後年書いている。1515年の解剖研究の権利剥奪についても学者やバチカン記録所の秘書に非難を向けている。レオナルドは解剖学の研究を始めた頃からこれらの手稿を本にまとめる計画を立てていたが叶わなかった。だが解剖手稿は彼の生前から評判になっており、そこには後世の研究者が行った研究成果がすでに含まれているという。その解剖図は最高の素描芸術と呼ぶにふさわしいものであると評され、レオナルド自身、解剖学における完璧な素描は言葉によるどんな説明もかなわない、という意味の言葉を残している。



1519年、レオナルドはフランソワ一世から招きを受けたフランスで生涯を終えた。解剖手稿は、弟子のフランチェスコ・メルツィに残され、その後イタリアの彫刻家レオーニへ、後にオークションにかけられ英国へ渡り、最終的にウインザーの皇室図書館に所蔵された。

（図書サービス課 荏原 直子）

図書館からのお知らせ

横浜・平塚共通

◎春季長期貸出期限日

2016年4月7日(木)

返却期限日までに必ず図書館に返却してください。
延滞すると延滞日数分(最長2週間)貸出停止
になります。

◎図書館を利用する際は学生証が必要です。

入館ゲートを通るとき、図書を借りるときに学
生証が必要です。

◎ガイダンス

横浜図書館では4月、5月に利用ガイダンスを
行います。ガイダンスの内容については4ペー
ジをご覧ください。図書館ホームページでも案
内しています。

◎盗難への注意

貴重品(財布、携帯等)は席を離れる時、必ず
身につけてください。

◎マナーを守りましょう

下記の迷惑行為は止めましょう。

- お喋り
- ヘッドフォンの音漏れ
- 携帯電話の使用(通話)
- 指定場所以外でのパソコン、電卓の使用
- 飲食

◎図書館では館内で利用できるノートパソコンの

貸出も行っています。
是非ご利用ください。

編集後記

図書館では19世紀以前の書物を貴重資料として保管している。本の形や大きさも時代によって変化があり、例えば17、18世紀に刊行された書物ではキャスト付きの小型トランクと同じくらい大きなサイズの本が珍しくない。その大きな本のページにはびっしりと小さな活字が埋め尽くされている。一冊読むのにどれだけの時間がかかったのだろうかと思う。ましてや本を作る側の労力はどれほどのものだったろうか。当時、本のページを印刷するには活字を一字一字組み合わせる文章を作らなければならなかったのだが、それを考えながら大型本のページを眺めていると気が遠くなる。

18世紀の百科事典の中には、その大変な作業によって作られた本が何十巻もまとまって一つのセットになっているものがある。印刷工の苦労はもちろんの事、百科事典の編集者達の苦労は並々ならぬものであったという。破産、弾圧、投獄、執筆者の離脱・・・それでも彼らは最後まで完成させた。仕事をやり遂げた編集者達には、この知識を広める事は必ず人類の未来に役に立つという、遠い未来を見据るまなざしがあったにちがいない。そうして彼らの仕事は、歴史に残る人類の宝になった。

今、自分のいる周辺の事だけではない、長いスパンで物事を見る事は大切である。今しか考えないのであれば、私達は未来に向かって何も残せない。百科事典の編集者達はその仕事を完成させてからもう二百年以上も経っている。しかしそこにある未来へのまなざしは、今でも私達に驚きと感動を与えてくれる。

(N.E.)

今号の表紙

レオナルド・ダ・ヴィンチ 解剖手稿(ファクシミリ版)より

左から体幹、脊柱の断面図、自画像、鏡文字、頭骸骨。体幹の断面図については、実際に解剖をしたものではなく紙の上で透視図を作りあげたものと思われる。『解剖手稿』について詳しくは7頁の「図書館の所蔵資料紹介」に記載。